

2005年9月16日

## レポート情報「ADR を利用した BRICs 投資」提供スタート！

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社(代表取締役社長：國重惇史、本社：東京都港区)は、最近の BRICs 投資への気運の高まりを受け、9月16日より、BRICs 投資に関するレポート情報の提供を開始いたします。

BRICs (ブリックス)とは経済成長が著しいブラジル (Brazil)、ロシア (Russia)、インド (India)、中国 (China) の頭文字をつなげた造語です。BRICs と呼ばれるこの4カ国の経済成長が現在のペースで続くと、世界経済の地図が大きく塗り変わるという予測もあり、いま大きな話題を集めています。

楽天証券では、これまで積極的に BRICs 諸国に投資する商品をラインアップしてきており、ネット証券随一の規模を誇っております。個別銘柄投資では、米国株式 ADR (米国預託証券) を通じて、ブラジル5銘柄、ロシア6銘柄、インド10銘柄、中国5銘柄、香港市場を通じて中国株式184銘柄を取扱っております。投資信託では、「SG ロシア東欧株ファンド」、「HSBC インドオープン」、「三井住友ニュー・チャイナ・ファンド」、「UFJ パートナース・チャイナファンド」の4銘柄で投資が可能です。

今回提供を開始するレポート情報「ADR を利用した BRICs 投資」では、米国株式 ADR を通じた個別銘柄投資の観点から、ADR 投資に関する情報やなかなか日本では手に入りにくい BRICs 諸国に関する投資の基礎知識などを週次で丁寧にわかりやすく解説していきます。このレポートは個人投資家の皆様に広くお読みいただき、一層の BRICs への理解を深めていただけるように弊社のメンバーページのみならず、誰でも読むことができるビジターページでも提供してまいります。

執筆者である広瀬隆雄氏は、米国で SG ウォーバーグ (現在の UBS ウォーバーグ)、H&Q、JP モルガンと、常に ADR に関連した業務に従事してきた方で、現在は、BRICs を中心としたエマージング・マーケットに特化した投資顧問会社 コンテクスチュアル・インベストメンツ LLC でマネージング・ディレクターとして活躍されているまさにその道のプロです。

ADR とは American Depositary Receipt の略称です。外国企業・外国政府あるいは米国企業の外国法人子会社などが発行する有価証券の一単位、複数単位、あるいはその一部に対する所有権を示す米ドル建ての有価証券で、預託機関である米国の銀行または信託銀行によって発行され、通常の米国株式と同様に NYSE や NASDAQ で売買が行われます。個別の銘柄情報につきましては、当社取扱 ADR 銘柄の外国証券内容説明書をご参照ください。

楽天証券は、1999年3月に設立された日本で最初のインターネット取引専門の証券会社です。楽天株式会社(96.7%)と三井住友銀行(3.3%)が株主となっています。